

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【公表番号】特表 2008-542549 (P2008-542549A)

【公表日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報 2008-047

【出願番号】特願 2008-515140 (P2008-515140)

【国際特許分類】

C 2 2 B 5/06 (2006.01)

C 2 2 B 15/06 (2006.01)

C 2 2 B 7/04 (2006.01)

C 2 2 B 11/02 (2006.01)

C 2 2 B 13/02 (2006.01)

C 2 2 B 19/00 (2006.01)

C 2 2 B 23/02 (2006.01)

【F I】

C 2 2 B 5/06

C 2 2 B 15/06

C 2 2 B 7/04 A

C 2 2 B 11/02

C 2 2 B 13/02

C 2 2 B 19/00

C 2 2 B 23/02

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 17 日 (2009.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

米国特許第 5, 8 6 5, 8 7 2 号明細書には、金属を回収する方法及びベース金属よりなる二次スラグを製造する方法が開示されており、この場合にはスラグには少なくとも 1 種類の還元剤が添加され、その際に種々の剤が注目される。特に炭素が使用され、その際に 40% までの割合が提案されている。スラグから金属を回収するために珪酸鉄を使用することが米国特許第 5, 6 2 6, 6 4 6 号明細書で提案されている。米国特許第 4, 0 3 6, 6 3 6 号明細書で提案される方法によっても、溶融物からニッケルを回収する際に固体の還元剤を添加することが提案されている。